

令和6年12月17日  
健康福祉部健康福祉指導課  
043-223-2313

## 令和6年度千葉県社会奉仕賞の表彰について

県では、長年にわたり社会奉仕活動を行い、社会福祉の増進に顕著な功績のあった個人及び団体を表彰し、その功績に報いるとともに、社会奉仕の精神の高揚を図ることを目的として「千葉県社会奉仕賞」を設け、昭和49年度から毎年度表彰を行っています。

本年度は、個人1名及び9団体を表彰することとし、下記のとおり表彰式を行います。

1 日 時 令和6年12月20日（金）午前11時から

2 場 所 千葉県庁中庁舎10階 大会議室

3 被表彰者 個人1名、9団体（別紙のとおり）

4 次 第 （1）主催者あいさつ（副知事 黒野嘉之）  
（2）表彰状の授与

5 その他

- ・ 取材を希望される場合は、当日会場の報道関係者受付で名刺をお渡しください。
- ・ 取材中は、自社腕章の着用をお願いします。

### 【参考】

- ・ 表彰開始年度 昭和49年度
- ・ 過去の表彰実績 個人：123名、団体：295団体（令和5年度まで）

## 令和6年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【個人】

No	推薦 市町村	氏名	功績概要
1	船橋市	こむろ ひろこ 小室 弘子	<p>未熟児で生まれた子どもがたくさんの方々にお世話になったため、直接その方々にはお返し出来ないが、代わりに同じ苦勞をする方たちへ恩返ししようとの思いから平成7年にボランティア活動を開始した。</p> <p>当初は保育などのボランティアから始め、船橋市立大穴小学校の庭木の剪定や花壇の手入れ、式典時のフラワーアレンジメントの作成、高齢者施設での楽器演奏の披露などの活動を行ってきた。</p> <p>現在は、庭師の資格も取得し、近所の高齢者等の家の庭木剪定などをボランティアで行い、大変喜ばれている。</p> <p>長年にわたり地域に多大な貢献を続けており、今後も活動を続けていきたいと意欲をもって活動をしている。</p>

## 令和6年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【団体】

No	推薦市町村	団体名	功績概要
1	四街道市	ちばてんじとしょかんてんやくかい 千葉点字図書館点訳会	昭和44年に千葉点字図書館（現・視覚障害者総合支援センターちば）の蔵書製作に携わるボランティアにより結成され、以後50年以上にわたり点字資料製作を続けている。 楽譜、数学、英語、情報処理など専門書の点訳、視覚障害学生・児童が使用する副読本や参考書のプライベート製作なども行っている。 現在はパソコンを使った点訳（キーボードで6点入力する方法）によりデータのやりとりが可能のため、千葉点字図書館点訳会が製作したデータは、視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」を介して全国で利用されている。 また、点訳以外の活動として、点字図書の本（糸綴じ製本）や触読校正の補助（視覚障害当事者の職員が点訳されたものを音読し、ボランティアが原本を見て照合する）などを行っている。
2	袖ヶ浦市	ほうようかい 豊謡会	昭和57年に結成。 毎年、年に3回程度、高齢者施設等を訪問して舞踊を披露し慰問活動を行っているほか、地区敬老会など的高齢者向けのイベントでも舞踊を披露している。 また、袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会開催のボランティアチャリティーショーでは、出演者として舞踊を披露するほか、運営スタッフボランティアとしても活動し、市のボランティア活動運営にも積極的に協力している。
3	流山市	ながれやましゆわ 流山市手話サークル「夢」 ゆめ	平成11年に手話芝居「夢」として発足。平成16年に流山市手話サークル「夢」に改称し、流山市ボランティアセンターに登録以来、市内の聴覚障害者の良き理解者として活動している。 活動に当たっては、流山市障害者福祉センターを拠点に、週一回の例会を開催するとともに、聴覚障害者との交流事業（流山手話フェスタや市民まつりでの手話コーラスの発表など）に積極的に参加している。 また、流山市デフ協会等と協力し、手話講習会の運営に参加する等、聴覚障害への理解や普及啓発等を行っている。
4	船橋市	みなほにじ 船橋虹の会 かい	昭和63年に朗読が好きな人が集まり活動を開始し、月1回程度の朗読ボランティアをはじめ、県立千葉盲学校の図書テープ作成や船橋市声の広報、声の船橋市議会報、有線放送ガイドなどを作成してきた。 平成25年からは、市内の公民館や児童ホームでの絵本の読み聞かせや紙芝居を主な活動として行っている。 また、勉強会や練習会も月に1回開催し、レベルの向上に勤めており、今後の活動にも意欲的である。
5	浦安市	はな あいて 話し相手グループ	平成4年に設立し、一人暮らしの高齢者が外出と仲間づくりができ、健康的に豊かな時間を過ごすことができるよう毎月第2金曜日にお楽しみ会やバスハイクを企画したり、個人宅への訪問、電話による話し相手の活動を行っている。 また、毎年開催されている浦安市のボランティア活動普及のための体験講座の協力も行って、ボランティア人口増加のための普及啓発活動に大きく貢献している。
6	千葉市	サンアビバドの会 かい	当該グループは、平成12年に結成され、障害者バトミントンを通じてスポーツの楽しさをともに享受し、技術のレベルアップと自立を支援する活動を長年にわたり続けている。 毎月の障害者バトミントンのサポート活動のほか、障害者バトミントン大会のサポート活動も行っている。 これらの活動は、障害者の生活の質の向上や社会参加の促進とともに、障害者スポーツの普及にもつながっているものと考えられる。
7	佐倉市	ようやくひつき 要約筆記サークル『あうん』	筆記要約を学び、耳の不自由な人とのコミュニケーションを図り、協力し合って耳の不自由な人の福祉向上に寄与することを目的として、平成13年に結成された。 定期的な筆記要約の学習・交流や、聴覚障がい者の情報保障への協力、中途失調・難聴者への支援を学ぶ講座の実行委員を担うなど、障害福祉分野の発展に寄与しているものと考えられる。
8	香取市	ろうどくほうし 朗読奉仕グループ みなも 水面	昭和54年頃に視覚障害者向けの広報紙読み込み活動を開始し、朗読ボランティア養成講座を受講したメンバーで昭和57年に結成した。 市の広報紙や議会だより、社会福祉協議会の広報紙を読み上げ、カセットテープに録音し、視覚障害者の自宅へ届ける活動を行い、行政や社会福祉協議会に関する様々な情報を声で届けている。 現在では、視覚障害者だけでなく、目が見えにくくなった高齢者にも利用されている。
9	千葉市	みはま 美浜レファ	当該グループは、平成10年に結成され、高齢者福祉施設へのハワイアン音楽演奏による訪問活動を月2回行っており、この活動を長年にわたり続けている。 音楽演奏についても月1回の練習を重ね、よりよい演奏を心がけている。 これらの活動は、利用者の生活の質の向上等、高齢者福祉の促進に寄与しているものと考えられる。